

世界遺産の登録と観光地域づくりに向けて

ものがたり観光行動学会 九州広域観光シンポジウム
第5回年次大会記念シンポジウム

九州のものがたり

海外との交流の地

基調セッション

ザビエルによるキリスト教の伝来と布教、迫害、隠れキリシタンの時代を経て開国後の信徒発見、明治以降の復教、教会群の建設等に至る九州のキリスト教の歴史を振り返り、それを基に、長崎の教会群とキリスト教遺産が世界遺産となることの意義と海外への情報発信のあり方等について議論する。

特別セッション

魏志倭人伝の時代から九州は大陸との交流の窓口であり、遣隋使・遣唐使の時代にあってもそれは国家の意思のもとで荒波を越える命がけの旅であった。宗像・沖ノ島ではその安全・安寧を願う国家祭祀が古代より長年にわたって行われてきたところであり、その遺物は沖ノ島をして「海の正倉院」と言わしめている。日宋貿易を発展させた平清盛が崇めた同じ宗像三女神を祭る厳島神社が世界遺産となり、観光地域として発展をみているところであり、これらをも参考としつつ、宗像・沖ノ島の世界遺産登録の意義、課題と地域づくりのあり方について議論する。

プログラム

[総合司会] 浅田 奈緒美 (RKB毎日放送・ものがたり観光行動学会会員)
年次大会・シンポジウムの趣旨説明 [実行委員長] 橋本 祐輔 (豊後大野市長)

基調セッション(14:00)

キリスト教の伝来、伝承の地としての九州のものがたり
～「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の
世界遺産登録と地域づくり～

プロローグ

キリスト教における九州の意義と西南学院の創立
G.W.パークレー (西南学院大学院長)

パネルセッション

パネラー

レンゾ・デルカ (日本二十六聖人記念館館長)
安高 啓明 (熊本大学准教授)
加藤 晃規 (学会副会長・関西学院大学名誉教授)

コーディネーター

高田 公理 (学会副会長・武庫川女子大学名誉教授)

特別セッション(15:50)

古代・中世の大陸との交流における
九州の役割とそのものがたり
～「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録と地域づくり～

プロローグ

古代からの九州のものがたりと観光地域づくり
大黒 伊勢夫 (学会特別顧問・西日本鉄道㈱・西鉄旅行㈱監査役)

パネルセッション

パネラー

葦津 敬之 (宗像大社宮司) 中村 靖富満 (宮島観光協会会長)
西高辻 信良 (太宰府天満宮宮司) 小林 正勝 (宗像観光協会会長)

コーディネーター

豊田 徹士 (豊後大野市歴史民俗資料館)

総評・閉会の辞(17:20)

白幡 洋三郎 (学会会長)

シンポジウム終了後 懇親会(17:30～19:10)

[会場] 西南クロスプラザ2階レセプションルーム [会費制] 4,000円(参加者お一人)

10.11

日曜日

主催 ものがたり観光行動学会 共催 西南学院大学 豊後大野市

会費 参加者お一人 / 1,000円
※当日会場にて徴収します。

会場 「福岡」西南学院大学
西南コミュニケーションセンター

第6回総会プログラム

第5回年次大会(11:00開会)

開会の辞・会長挨拶
白幡 洋三郎 (学会会長)

研究発表(11:15)

主査 加藤 晃規 (学会副会長)

(12:30終了)

各自昼食

第6回総会(13:15～13:45)

2014年次決算

2015年次事業計画、予算等

進行 李 有師

(学会専務理事・ぶんご大野里の旅公社理事長)

シンポジウム等の参加については、9月30日までに事前登録することが必要です。参加ご希望の方は、「ぶんご大野里の旅公社」までお申し込みください。

お申し込みは
FAXで

◎ 申込代表者氏名と参加人数

◎ 連絡先電話番号

◎ 所属

◎ 懇親会参加の有無

申し込み先

ぶんご大野里の旅公社

FAX.0974-27-5537

お問い合わせ

14111@sato-no-tabi.jp

後援

国土交通省九州運輸局 / 福岡県 / (一社)九州観光推進機構 / (公社)福岡県観光連盟 / (公財)福岡観光コンベンションビューロー / 九州鉄道協会 / 九州バス協会 / (公財)九州運輸振興センター / (一財)九州陸運協会 / 九州旅客鉄道(株) / 西日本鉄道(株) / 西鉄旅行(株) / (株)西日本新聞社 / NHK福岡放送局 / RKB毎日放送(株)